

令和8年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	音楽Ⅱ	学 年	第3学年	学 科 類 型	商業科
単位数	2単位	教科書	MOUSA2（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	音楽Ⅰの学習内容から発展させ、音楽史を中心に学習します。歌唱活動では、教科書を中心に歌の世界を幅広く体験します。創作活動では、キーボードやギターで演奏したり、歌ったりします。このような活動を通して、音楽に対する理解を深め、より豊かな感性を磨くことを目標にしています。
------	---

キャリア教育の視点	様々な音楽が生活の一部となっている現在、音楽の楽しみ方は様々だと思います。基礎となる知識や技術があれば、今までより更に音楽を身近に感じ、自分に合った音楽の楽しみ方を発見することもできると思います。卒業してからも音楽に親しむために、知識を付け、感性を磨きましょう。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	1年時の復習 歌唱	1年次の学習を振り返り、さらに発展させた歌唱を行います。言葉の発音、音ののぼし方、ハーモニーの取り方などについて学びます。 西洋音楽史をたどりながら楽曲や作曲者について学び、楽曲の鑑賞をします。	ワークシート 実技テスト
	5月	歌唱 二重唱		
	6月	歌唱 二重唱 鑑賞(西洋音楽)		
	7月	歌唱 二重唱 鑑賞(西洋音楽)		
2 学 期	8月	楽典 鑑賞(西洋音楽)	音楽の仕組みについて学びます。 西洋音楽史の流れを総合的に学習し、舞台芸術にも触れます。 ギターの基礎を学び、メロディを弾き、コードを覚えて演奏します。 日本歌曲の美しさを感じ取り、ハーモニーを感じながら合唱します。	ワークシート 端末タブレット 実技テスト 発表会 実技テスト
	9月	楽典 鑑賞(舞台芸術)		
	10月	器楽 ギター 音階		
	11月	コード付け		
	12月	合唱「赤とんぼ」		
3 学 期	1月	楽典 キーボードによる弾き歌い	音楽の仕組みについて学びます。 卒業ソングを選曲し、コードを付けて弾き歌います。	実技テスト 発表会
	2月			
	3月			

学習の方法	授業中の活動が中心となりますので、個人での活動もペアでの活動も、積極的に自主的に活動に取り組んでください。音楽史や創作の知識については、授業で扱う内容が大切になります。また、創作の活動や端末を用いた活動についても、授業の中でどれだけ積極的に活動できたかが大切になります。
-------	---

評価の仕方	定期考査は行いません。 知識・技能 A表現(完成作品、創造的な技能) B鑑賞(ワークシート、自己評価) 思考・判断・表現 A表現(創意工夫) B鑑賞(鑑賞活動、発表内容) 主体的に取り組む態度 A表現(活動状況、提出物、発表、発表の工夫) B鑑賞(鑑賞の発表、協働的な活動状況、感想)
-------	--

備考	
----	--